



病院機能評価 認定更新

当院は、平成12年に財団法人日本医療機能評価機構より病院機能評価(一般病院種別A)の認定を受けており、昨年で有効期間の5年間を迎えたために平成17年6月23・24・25日に更新審査を受審した。日本医療機能評価機構とは、患者

さまが適切で質の高い医療を安心して受けられるように、医療機関に対し、6領域の検査項目を中立的な立場で評価し、問題点の改善を支援する第三者機関である。日本病院機能評価機構は厚生労働省や日本医師会の出資で、95年に設立

認定基準を達成していると認められ、昨年12月に、再度日本医療機能評価機構より認定証をいただくことができた。(関連記事2面)

新興・再興感染症 講演会開催

12月3日、医歯薬会館に於いて、国立国際疾病センター長の工藤宏一郎先生を講師に招聘し、「新興・再興感染症とバイオテロについて」と題し、講演会が開催された。WHOによれば、罹患率が増加したか近い将来増加が懸念される感染症と、一度沈静あるいは制圧されたと考えられていたが再び大きな流行の形をとって出現し始めた感染症を「新興・再興感染症」と呼んでいる。講演会では、SARSや鳥インフルエンザ等の概要や現状を踏まえ、現段階では、新型インフルエンザの出現そのものを阻止すること



今年の年男・年女?

を希望する医療機関に、病院長や看護管理職経験者らで構成する評価者グループが訪れ、審査項目に沿って判定する。一定の基準をクリアすると、病院に認定証が発行される。認定は5年に一度見直される。

更新認定再審査受審の結果は、所定の



話題の感染症についての最新情報

外科認定施設に 指定

12月15日、日本外科学会から、当院を外科学会専門医制度修練施設に指定するという施設認定の連絡を受けた。これまでの大学関連施設としての指定から、単独での認定施設となった。

感染学習会

11月24日、坂田クリニック研修室に於いて、感染委員会による針刺

接遇セミナー開催

11月26日、木更津の医歯薬会館で当院職員を対象とした接遇セミナーが行われた。今回は「職員間のマナー」をテーマとして、講師に現代礼法研究所の岩下宣子先生を招き、「職場で気持ちよく過ごす知恵」と題して講演が行われた。参加者は147名で、講演の途中では配布された問題に熱心に解答を記入する姿がみられるなど、活発な講演会となった。また、この講演会後のアンケートでは、今後マナーを意識しようと思うという回答が多く寄せられた。(関連記事2面)



熱心に聞き入って

屋内消火栓操法 大会に参加

11月25日、第26回君津市自衛消防屋内消火栓操法大会が、君津市民文化ホール駐車場にて開催された。当院からは、男子(桐越淳也・川島英文・山口啓)女子(目良和美・武内真理子・



敢闘賞の女子チーム

美・武内真理子・桐山由紀子)2チームが参加し、日頃の訓練の成果を

夜間帯の 消防訓練実施

12月15日、夜間深夜帯(23時)に2階の透視室で火災が発生したと想定し、消防訓練が午後4時より実施された。夜間帯における勤務者数は少ないため、職員各々には昼間に比べてより的確で迅速な役割分担・災害時対応が求められる。消防署への通報訓練や屋内消火栓による初期消火訓練のほか、重症患者の避難移動訓練(写真)、防火区



少ない人数でも的確な搬送を!

新年のごあいさつ

平成十八年元旦



玄々堂君津病院 院長 武部 嗣郎

新年おめでとうございます。さて昨年を振り返ると良い事ばかりだった感じがします。まず2年前から準備してきた病院機能評価更新を6月に受審、12月に届いた認定

結果報告書には「適切4」がなんと70%もありました。8月には君津市民祭りで7年連続の入賞、3度目の最優秀賞をいただき参加職員の方々の誇りと熱意を、そして市民の皆さまの応援を感じることができました。そして暮れには外科学会認定施設に指定され、当院は単独で外科専門医を出せるようになりました。

このように華々しい一年が過ぎましたが、次第にそして着実に暗雲が近づいてきています。まず4月には保険診療費の切り下げと個人負担の増額が行われ、医療切り捨てが更に深刻化する。医療の提供を続けるためには病院コストの厳しい見直しが必要になります。また一昨年から始まった医師の新研修制度により新人医師が地方での医師供給源であった大学医局に戻らず、都会志向、3K(きつい・汚い・危険)離れが現実となり、地方に医師がいなくなり病院機能が果たせない病院がすでに続出しています。当院でも現実には深刻な問題

となり厳しい判断を迫られています。人には夢があり誇りがあります。当院が今まで為してきた多くのことは地域医療の夢の実現そのものであり、職員の方々の誇りと熱意を資源として、この空前の厳しい氷河期を乗り越えなければなりません。私たちは民間であり誰の助けもなく、自分で考え、行動し、責任を取らなければなりません。職員の柔軟な対応と地域の皆様の応援をよろしくお願ひいたします。

『小さな業務改善』 取り組み開始

部課長会の業務改善担当で検討した結果、「小さな業務改善」と「大きな業務改善」に分けて各部署で取り組みを開始することが決定された。小さな業務改善の目的は一人一人の職員に改善意識を持ってもらい、その意識を高めるための方法として、このシステムを活用することとした。システムの内容は、一部署一ヶ月一枚の「KAI-ZEN用紙」を作成し、改善提案だけでなく実施し、効果について記載することとした。結果に

については部課長会で報告し評価するシステムである。10月の部課長会から各部署の取り組みが報告され、さまざまな小さな工夫がみられ活気づいた。システム定着化に向けて各部署で試行錯誤の段階だが、「できることから」できることから、できることまで」をモットーに小さく変えていくことで、職員一人一人が自分の業務について改善可能な点がないかを意識的に見ることが出来るようになるのを期待したい。

忘年会

12月17日、ホテルロイヤルヒルズ八宝苑にて、恒例の忘年会が行われた。総勢240名の参加のもと一年間の労をねぎらった。

今年のクリスマス会は 外来チーム

12月24日、毎年恒例のクリスマス会が外来ホールにて行われた。君津童謡唱歌を歌う会の方々の歌声や院内保育所の子ども達のかわいい歌声、外来職員によるディズニーパレードさながらの楽器演奏に合わせて、トナカイに仮装した矢後ドクターと外来サンタが踊りを披露した。多数の患者さまと職員で賑わった会場はクリスマスモードに包まれた。クリスマス会終了後にはサンタクロースが登場し、ボランティアさん手作りのプレゼントが患者さまの所に届けられた。



病院機能評価 総括の全文

貴院は昭和47年に当地に診療所として開設されて以来、常に地域に立脚した医療を目指されており、当院は、一人一人の患者様を大切に、真摯で安心なぬくもりのある医療を提供いたします。という理念のもと、「良質な医療を患者様に」という基本方針を掲げられ、急性期医療の提供と質向上に尽力されてきた。また、平成13年からは、「地域病院」として、全ての患者を受け入れる」との精神で、全職員が一致団結して夜間診療や救急医療に対応されている。さらに、今回の受審に向けても、全職員が協力し準備に大変な努力をされたことが、随所で汲み取れた。今後も継続して、全職員がなお一層心を一つにされ、医療の質向上と医療安全の確保、病院運営の効率化などに邁進されるよう、期待のこぼれるところである。

第2領域 患者の権利と安全の確保

患者の権利と職業倫理に関する方針を明確にされ、患者および職員への周知も適切に行われている。説明と同意については、面談票を用いてわかりやすい説明に配慮されており、同意を得る手順も確立されている。また、精神科医と心療内科医が週1回対応されるなど、患者の心理的側面にもよく配慮されている。ただし、患者の請求に基づく診療記録の開示は今年4月から実施されたところ、今後の積極的な開示に期待したい。患者の安全確保のための体制は整備されており、組織的活動方針や手順も職員に周知され、系統的な教育・訓練も実施されている。また、患者の安全確保を確保する具体的な手順の確立も、おこなわれている。患者の安全確保に対する情報収集・分析・改善では、医師からの報告件数の増加や、分析手法の検討が今後の課題である。なお、医療事故発生時の対応手順は明確で、職員へも周知されており適切である。一方、院内感染管理についても、組織的対応体制が整えられており、おこなわれている状況にある。

第1領域 病院組織の運営と地域における役割

病院の理念、基本方針を明文化し、病院内外へ向けた周知の努力も適切に行われている。また、地域における自院の役割・機能の設定も明確になっており、中・長期計画も策定されている。病院管理者・幹部のリーダーシップは、運営方針決定や問題解決に向けた方策の検討、医療の質向上への取り組みなどの場面で、おこなわれている。病院組織の運営は、組織規程に基づき適切に行われており、決定された重要事項を院内LANや各種会議等を通じて伝達する仕組みも確立されている。ただし、事業計画については、中・長期計画や収支計画などに基づくものを策定されるよう、今後の検討に期待したい。情報管理機能の整備と活用では、情報管理の担当者配置し、院内LAN等を適切に病院運営に必要な基本情報共有されている。今後も継続して、診療統計の充実にも努められるとともに、診療情報の開示にもより積極的な対応を望みたい。関係法令の遵守、職員の教育・研修、医療サービスの改善活動は、いずれ

第3領域 療養環境と患者サービス

接遇と案内では、再来受付機のボラティアの配置や老眼鏡の設置など、高齢者によく配慮されており、挨拶や身だしなみも適切である。ただし、病院玄関に責任者の一覧掲示がなく、一部の掲示物の文字が小さい点などについては、再検討が望まれる。医療相談はMSWが対応し、記録の整備も行われており適切である。患者家族の意見の尊重では、患者満足度調査が定期的に実施されており、要望や苦情への対応も適切である。利便性とバリアフリーでは、患者や面会者の利便性として、地域の健康増進に寄与する活動やボランティアの受け入れが極めて積極的に実施されており、高く評価できる。

なみも適切である。また、病院玄関に責任者の一覧掲示がなく、一部の掲示物の文字が小さい点などについては、再検討が望まれる。医療相談はMSWが対応し、記録の整備も行われており適切である。患者家族の意見の尊重では、患者満足度調査が定期的に実施されており、要望や苦情への対応も適切である。利便性とバリアフリーでは、患者や面会者の利便性として、地域の健康増進に寄与する活動やボランティアの受け入れが極めて積極的に実施されており、高く評価できる。

おむね適切だが、抗菌薬の使用基準が一部で守られていないので、周知徹底を図られた。手術・麻酔・処置については、適切に実施されている。さらに、栄養管理と食事指導、効果的なリハビリテーションの実施、QOLの配慮と緩和医療、行動制限への配慮、院内緊急時の対応、診療の質の保証などについても、いずれも適切に実施されている。なお、療養の継続性の確保では、退院時の指導内容が一部の診療録で確認できないものが散見された。また、退院時サマリーの2週間以内の記載率がやや低いため、記載率の向上を目指されたい。

第5領域 看護の適切な提供

看護体制の確立と組織管理
看護部門の組織の確立については、病院の理念を反映した理念・目標が明文化されており、看護職員に周知されている。また、看護部門の組織や役割との業務規程も整備されている。看護部門の組織の運営については、職員の意見を反映し、個々の職員を活かす組織作りが配慮されている。ただし、効率的な看護ケアの提供という点では、他の部門・職種との業務分担や連携など課題もある。なかでも、病棟の注射薬・キケン業務の薬剤師の関与をより強められることや、新たに設置された医療機器管理室の医療機器の保守管理体制の充実が期待したい。看護部門の職員の能力開発については、クリニカルラーニングが整備され、看護部門の全ての職員を対象にした目標管理がなされている。また、年間研修計画に基づき研修が行われており、能力開発のための資源も確保されており適切である。

第4領域 診療の質の確保

診療体制の確立と各部門の管理
診療組織が整備され、医師や各診療部門の職員も確保され、組織図も明確になっている。また、管理委員会や部課長会議などが定期的に開催され、診療における倫理に関する教育も行われており適切である。医師の人事管理と教育・研修では、診療能力や組織的活動への関与や貢献度が定期的に評価されている。また、学会や研修会への参加が奨励・支援されており、院内の研修会も年間計画に基づき行われるなど適切である。診療録管理部門は、有資格者2名が確保され1患者1ID番号1診療録の多方向により中央管理されており、診断名・手術名のコーディングも実施されるなど適切である。図書室機能も適切に整備されている。また、臨床検査部門についてもおこなわれている。夜間など緊急時への迅速な対応が今後の課題である。病理診断部門では、術中迅速病理診断の体制を整備するなど、病理診断機能の充実が望まれる。放射線部門は適切に整備・運営されている。薬剤部門についても、薬剤の保管・管理や調剤などは適切だが、購買方式や在庫管理にはなお努力の余地がある。輸血血液部門では、自己温度記録計付き専用冷凍庫の設置が望まれる。手術・麻酔部門では、機能に見合った施設・設備・機器が整備され、機器の保守点検が臨床工学技士の関与を強められた。



救急部門は、体制の整備・運営状況共に適切である。また、栄養部門でも、運営体制を整備し、栄養管理も適切に行われている。さらに、リハビリテーション部門も、方針や役割・機能が明確になっており、それに沿った必要な職員も確保され基準・手順に基づいて適切に運営されている。

第6領域 病院運営管理の合理性

就業規則・給与規程を適切に定め、周知するなど、人事管理の体制は整備されている。また、見直しが行われている。また、医療機器管理では、医療機器管理室が設置されたところ、今後の充実を期待したい。物品管理については、全般的にはおこなわれている。また、2年以上の実地研修を確保したが、年2回以上の実地研修を確実に実施された。一方、業務委託では、委託業者の従業員教育の確実な把握や、契約内容の見直しなどが今後の課題である。訴訟などの対応は、総括担当者で明確にされるなどおこなわれている。緊急時の召集・検討体制の確立を図られた。

「職場で気持ちよく過ごす知恵」

11月26日に開催された接遇セミナー講演会。職員間のマナーをテーマに、講師の岩下宣子先生にお話を頂いた。その講演の要旨を紹介する。

1、漱石も云っています。山路を登りながら、「こつ考えた。智に働けば角(かど)が立つ。情に掉させば流される。意地を通せば窮屈だ。とかくにこの世は住みにくい。」

住みにくさが高じると、安いところへ引き越したくなる。どこへ越しても住みにくいと悟ったとき、詩が生まれる。人が世を作ったものは神でもなければ、愛でもなければ、思ひやりの心(愛)は相手に通じる形であらわして通じます。あなたの仕事の中でどんな表現をしていますか?愛情なしには職場の人間関係もうまくいきません。愛情を持つことは心を込めることです。

自分自身の利を求めず、安易に人に動かされず、おおよそ悪事というものをたくらまさない。思いやりの心(愛)は相手に通じる形であらわして通じます。あなたの仕事の中でどんな表現をしていますか?愛情なしには職場の人間関係もうまくいきません。愛情を持つことは心を込めることです。

長い苦難に耐え、親切で人をむやみに羨まず、自慢せず、思い上がらない。自分自身の利を求めず、安易に人に動かされず、おおよそ悪事というものをたくらまさない。思いやりの心(愛)は相手に通じる形であらわして通じます。あなたの仕事の中でどんな表現をしていますか?愛情なしには職場の人間関係もうまくいきません。愛情を持つことは心を込めることです。

普段の人間関係が大事です。自立心を養って大人の男、大人の女をめざしましょう。笑顔の挨拶を心がけましょう! 嫌な人ほど最高の笑顔で挨拶しましょう。*頭で分かっているても悲しいかな、心が分らないと行動できません。講演の最後に、「おかげさまで(作・上所重助)という詩が紹介された。

言葉や態度や動作にもです。3、言葉のマナー 「こんなことハッキリ言わなくてもわかるだろうー」はわかりません。親しき仲にも礼儀ありは職場の人間にもいえます。◎相手の話をしっかりと聴いて答えるくせをつけましょう。◎話は聞き手にあります。相手に伝わらなければ云わなかった事と同じです。相手に分かるように言葉遣いをくせをつけましょう。◎表情、態度にも気をくせをつけましょう。

言葉や態度や動作にもです。3、言葉のマナー 「こんなことハッキリ言わなくてもわかるだろうー」はわかりません。親しき仲にも礼儀ありは職場の人間にもいえます。◎相手の話をしっかりと聴いて答えるくせをつけましょう。◎話は聞き手にあります。相手に伝わらなければ云わなかった事と同じです。相手に分かるように言葉遣いをくせをつけましょう。◎表情、態度にも気をくせをつけましょう。

普段の人間関係が大事です。自立心を養って大人の男、大人の女をめざしましょう。笑顔の挨拶を心がけましょう! 嫌な人ほど最高の笑顔で挨拶しましょう。*頭で分かっているても悲しいかな、心が分らないと行動できません。講演の最後に、「おかげさまで(作・上所重助)という詩が紹介された。

普段の人間関係が大事です。自立心を養って大人の男、大人の女をめざしましょう。笑顔の挨拶を心がけましょう! 嫌な人ほど最高の笑顔で挨拶しましょう。*頭で分かっているても悲しいかな、心が分らないと行動できません。講演の最後に、「おかげさまで(作・上所重助)という詩が紹介された。

普段の人間関係が大事です。自立心を養って大人の男、大人の女をめざしましょう。笑顔の挨拶を心がけましょう! 嫌な人ほど最高の笑顔で挨拶しましょう。*頭で分かっているても悲しいかな、心が分らないと行動できません。講演の最後に、「おかげさまで(作・上所重助)という詩が紹介された。

普段の人間関係が大事です。自立心を養って大人の男、大人の女をめざしましょう。笑顔の挨拶を心がけましょう! 嫌な人ほど最高の笑顔で挨拶しましょう。*頭で分かっているても悲しいかな、心が分らないと行動できません。講演の最後に、「おかげさまで(作・上所重助)という詩が紹介された。

普段の人間関係が大事です。自立心を養って大人の男、大人の女をめざしましょう。笑顔の挨拶を心がけましょう! 嫌な人ほど最高の笑顔で挨拶しましょう。*頭で分かっているても悲しいかな、心が分らないと行動できません。講演の最後に、「おかげさまで(作・上所重助)という詩が紹介された。

普段の人間関係が大事です。自立心を養って大人の男、大人の女をめざしましょう。笑顔の挨拶を心がけましょう! 嫌な人ほど最高の笑顔で挨拶しましょう。*頭で分かっているても悲しいかな、心が分らないと行動できません。講演の最後に、「おかげさまで(作・上所重助)という詩が紹介された。

高田真行名誉院長著

「医者がホントウに話したいこと」

本書は、「現在の

医療の混迷と、崩壊一歩手前の危機的状況」を前に、やむにやまれぬ思いから書かれた、まれに見る本音の本である。

— 書評 —

上杉義隆氏^{*1} ～市民として～

「この度のご出版おめでとうございます。高田先生には「直筆サイン入り」をいただきました。感謝しております。

— 読後の感想 —

三木克幸先生^{*2} ～若い医師の一人として～

この度はご出版おめでとうございます。高田先生には「直筆サイン入り」をいただきました。感謝しております。

つてもベッドサイドに駆けつけて、患者の訴えに迅速に対応するフットワークのよさ(アペイラビリティ)と、信頼関係を構築するコミュニケーション能力などと理解いたしました。

「オレの知ったことか」と江戸前の嘆きの一つも切りたいところですが、そこをグッと抑えて、もう一度だけ、微かな希望(というより私の夢の形骸かもしれないだけ)の方に、残り少ない

— 私がこの本を書いた理由 —

高田名誉院長 ～著者として～

今、日本の医療現場は、人間・社会慣習といった財政以外の要因を無視した制度改革と医療文化の偏向に挟撃されて、構造的な絶望に浸食されつつあります。

医療当事者だけでなく、日本の社会の成員の誰もが、ここに書かれたことを、自分自身の問題として本気で気にかけて下さるようになって、それが微かな希望につながる汎社会的な共感を呼び寄せることになれば、と願っています。



医療文化社刊 平成17年10月



「このようにするんですよ」

— ボランティア表彰 —

日本病院ボランティア協会には、全国191グループが加盟しており、毎年総会では活動1000時間表彰を行っている。昨年8月、外来ボランティアとして活躍されている倉岡昭雄さんが、当院では初の活動1000時間を達成され、10月26日に京都で開催された総会に於いて表彰された。

— 倉岡昭雄さんの言葉 —

感激の壇上に立たせていただきました。これもボランティアを導入し活動の場を与えて下さった病院、ご指導いただいた職員の方々、そして患者さんをはじめ来院者の方々からの温かい励ましのお言葉のおかげだと感謝しています。



職員とボランティア仲間に戻られて

「ブルー」

理学療法科 河内 元治

私はどうもスピードやスリルを味わえることが好きです。例えば、ローラーブレードで豪爽に滑ったり回ったり転んだり。また、旧車バイクで走行(昭和30年代製で

斬新なアイデア、美しさには感動せずにはいられません。通りがかりの旧家の解体現場に出くわせば、親方に懇願し飛び込んでいきます。

す。醍醐味はやはり「無」になれることでしょうか。セールの風を引き込み、プレイングと云って、水面を猛スピードで滑走する時は、それはもう言いようの無い快感です。



生涯青春

*1 元木更津ケーブルテレビ記者、玄々堂君津病院の患者でもあった。

*2 東京女子医大の若手医師(27才)。H16年4月〜17年3月迄当院勤務。

職員旅行へ行ってきた

10月だというのに沖縄は私たちの期待どおりに暑かったのよかったです。旅行2日目の自由行動、たいして知識のない私たちが沖縄といえは「海がキレイ」という発想しかなくシュノーケリングをすることにしました。事前にとこの海で潜るのか決めていなかったのが那覇から北の方へ海岸沿いの道を車でビーチ巡り。車から眺める景色はとて



放射線科 安藤純

クローズアップスタッフ

Produced by I.YOSHIDA



このコーナーは、患者さまの役に立つ工夫をしている職員をクローズアップして紹介しています。今回は、臨床工学科の渡邊仙志さんを紹介致します。

Q・臨床工学科の技士は、どのような業務を行っていますか？

渡邊・大きく分けて2つの業務を行っています。まず一つ目は「生命維持管理装置の操作」。生命維持管理装置と言っても色々ありますが、当院では主に血液浄化療法装置（装置を使い体外で血液から病気に関係する悪いものを取り除いて、綺麗になった血液を又体内に戻してあげる治療装置です。）の操作を行っています。二つ目は「医療機器の保守・管理」です。先ほどお話ししました血液浄化療法装置や輸液・シリンジポンプ、除細動装置などの定期メンテナンス、修理を行っています。

Q・医療機器を操作する時に心掛けていることをお聞かせ下さい。

渡邊・医療機器を操作した後は、安全対策の意味も含めて操作手順を再度確認するように心掛けています。

Q・最後に抱負をお聞かせ下さい。

渡邊・最新医療は医療機器無しでは成り立たなくなっています。医療機器もより高度なものになりました。そこで、安全かつ安心して医療機器で治療が行えるように、私たちのような専門に医療機器を取り扱う資格が誕生した訳です。医療機器も医療技術も日進月歩であり、自分自身取り残されないように日々努力して行きたいと思っています。

人事往来

【役職変更】

- 事務長代理 大野 八朗 12月26日付
(10月2日~1月1日まで)
()内は旧所属部署
3 A 病棟 庄司 いづみ (4階病棟)
木更津クリニック 野中 由美 (坂田クリニック)
坂田クリニック 山口 亜樹 (4階病棟)
2階病棟 遠藤 真由美 (3A病棟)
3 A 病棟 鳥海 梨加 (2階病棟)
I C U 近藤 玲佳 (3B病棟)

【新入職員】

- (10月2日~1月1日まで)
薬 劑 師 盛田 佳克 (11/1~)
看護 師 永井 妙子 (12/5~)
看護 師 松岡 初美 (12/5~)
ナースエイド 秋元 留美 (10/25~)
ク ラ ー ク 斉藤 ひろみ (11/1~)
ク ラ ー ク 正木 知佳 (10/3~)
調 理 員 斉藤 道代 (11/1~)
小 峯 幸子 (12/7~)

二十歳の主張

「表紙が年男・年女なら、こちらは新成人の誕生！」
今年で二十歳を迎える職員が当院にも2名いる。その一人が放射線科助手の五月女政輝さんは、富津市の成人式典で佐貫地区代表として成人の主張を発表した。

編集後記

長いようで短い一年の始まりです。
冬はやっぱり温泉ですね。
あつというまに卒業です。
間違って早いですね。
明けましておめでとうございませう。
今年も、原稿の締切を守れるよう頑張りたいと思います。

インフルエンザの流行に押しつぶされないうちに祈る毎日。
今年も新聞委員です。皆さんの足を引く張らないように頑張ります。
編集長、長い間お疲れさまでした。

ずしも正義が世論になるとは言えませんが、残念ながら。
新潟豪雪悲鳴、千葉乾燥悲鳴、小生アキレス腱疲労悲鳴。
今回で、編集長退任となります。これまで、多くの方からお力添えと感動をいただきました。本当にありがとうございました。

栄養科便り

12月24日の夕食、患者さまの所にクリスマスのお食事が届けられました。

メニュー

ローストチキン(星形グラッセ・ピーマンソテー)/スノーサラダ/コンソメスープ/クリスマスケーキ



サブタイトルは「もも」

桃(もも)は、桃の節句といわれるように、ひな祭りには欠かせない花です。鮮やかな桃の花の色は遠目にも立ち、見るだに「春」を喚起されます。バラ科の落葉小高木で、日本にも暖地には自生があるようですが、中国黄河上流域域原産で、古くから日本に渡来していたらしく弥生時代の遺跡からも核が出土しています。

外来診療予定表 平成18年1月現在

Table with columns for days of the week (月, 火, 水, 木, 金, 土) and rows for different times of day (午前, 午後, 夜間) listing staff names and specialties.

*予約診療に關しましては要約的になりますので予め確認下さい。
*外来担当医師診療予定は、毎月初めに発行されます。詳しくは7ページを御覧下さい。
問合せ 52-2366(係:伊藤・大口)

当院は一人一人の患者さまを大切に、良質で安心なぬくもりのある医療を提供いたします

玄々堂君津病院の理念

- 方針
【良質な医療を患者さまに】
1.総合診療(患者さまを全体として見る)を中心に、専門診療(高度な専門的医学知識・技術)を取り入れて良質な医療を提供いたします
2.多様な医療を準備し、一人ひとりの患者さまのニーズに応じた医療を提供いたします
3.職員はおのその専門分野の知識と技術の向上に努めます
【安心なぬくもりのある医療を患者さまに】
4.医の倫理を守り、患者さまの権利を尊重いたします
5.インフォームドコンセント(説明と同意)を徹底させ、信頼と協力に基づいた医療を行います
6.安全対策・感染対策を十分に行い、アメニティにも配慮いたします
7.病院・クリニック・訪問看護ステーション・ヘルパーステーションが一体となって健診・医療・看護・介護サービスに取り組みます

平成17年1月1日